

# 1. 荒瀬ダム撤去の概要

## 1.1 荒瀬ダムの概要

荒瀬ダムは日本三大急流の一つである球磨川の河口から約 20km の地点に、「球磨川流域総合開発計画」に基づき建設された発電専用ダムである(昭和 30 年 3 月竣工)。藤本発電所による発電は、昭和 29 年(1954 年)に開始し、当初はその発電量が県内電力の約 16%を占め、熊本県経済の発展に大きく貢献してきた。その後、50 年以上にわたり電力を供給してきたが(図1.1.9 参照)、平成 22 年 3 月 31 日に荒瀬ダム水利権が失効したことから発電を停止し、平成 24 年度から平成 29 年度の 6 ヶ年で撤去した。

表 1.1.1 荒瀬ダム諸元

項目	内容
所在地	熊本県八代市坂本町
形式	重力式コンクリートダム
堤高	25.0m
堤頂長	210.8m
堤体積	47,167m <sup>3</sup>
流域面積	1,721km <sup>2</sup>
総貯水容量	1,014 万 m <sup>3</sup>
湛水面積	123 万 m <sup>2</sup>
常時満水位	EL.32.5m



図1.1.1 荒瀬ダムの位置



図 1.1.2 荒瀬ダム撤去着手前（平成 23 年 5 月 15 日：右岸下流より）



図 1.1.3 荒瀬ダム撤去完了後（平成 30 年 4 月 19 日：右岸下流より）



図 1.1.4 荒瀬ダム撤去着手前（平成 14 年 12 月 11 日：林道から望む）



図 1.1.5 荒瀬ダム撤去完了後（平成 30 年 8 月 3 日：林道から望む）



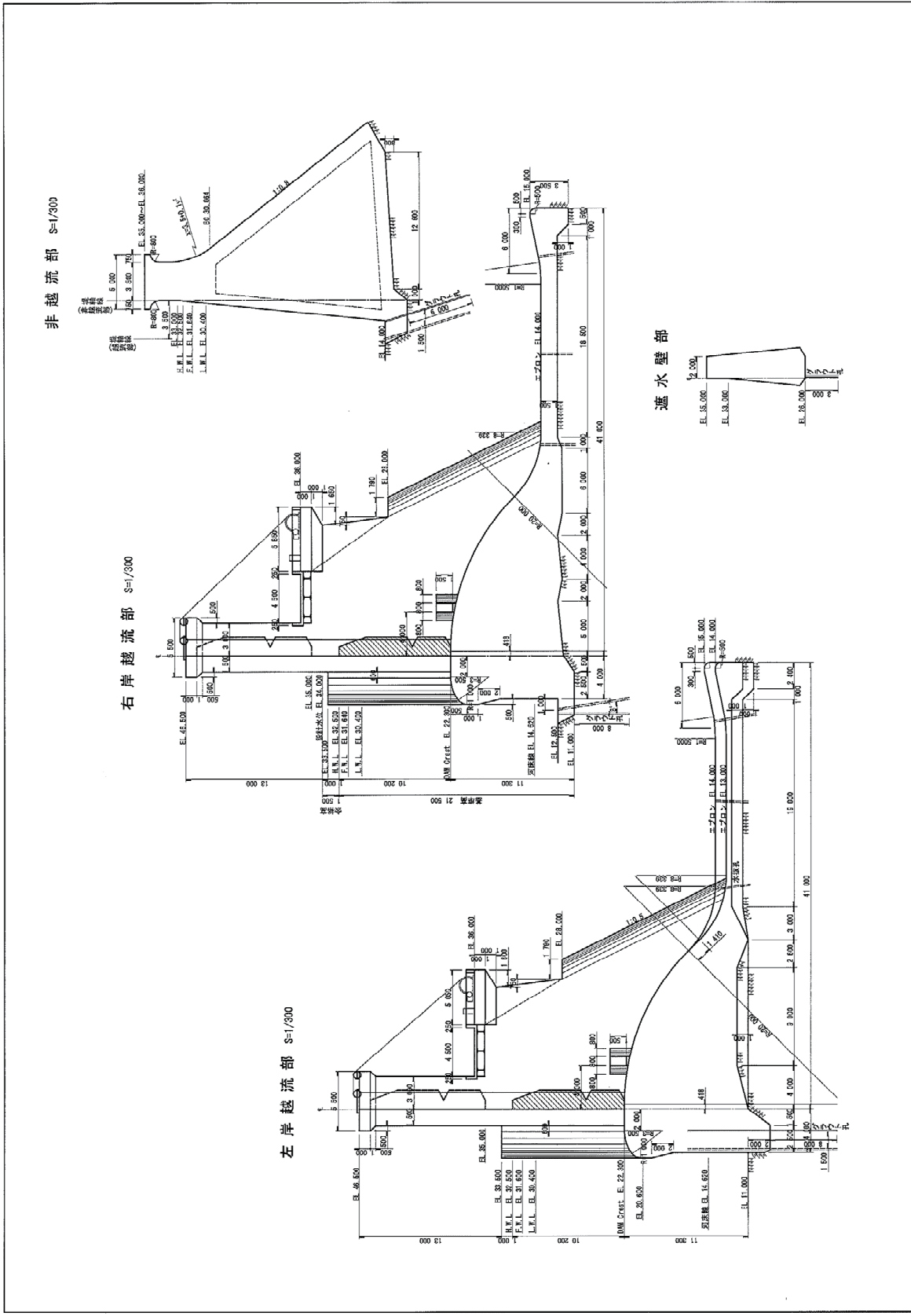


图 1.1.7 荒瀬ダム標準断面図

表 1.1.2 藤本発電所諸元

項目		内容
所在地		熊本県八代市坂本町
形式		ダム水路式
出力	最大	18,200kW
	常時	3,750kW
使用水量	最大	134.0m <sup>3</sup> /s
	常時	27.57m <sup>3</sup> /s
有効落差		16.75m
水車形式		立軸カプラン
年間供給電力量		約 7,468 万 kWh*

※一般家庭の約 2 万世帯の年間使用量に相当



図 1.1.8 荒瀬ダム及び藤本発電所の施設位置及び概況写真

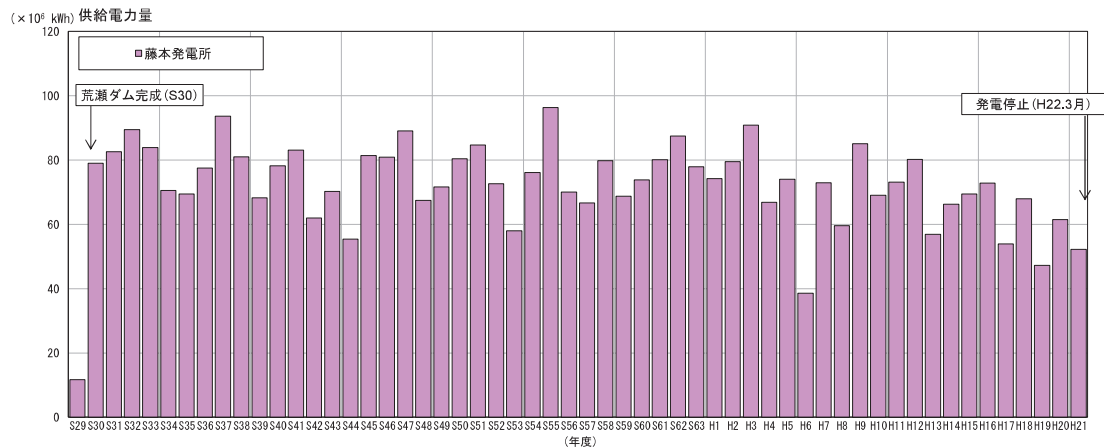


図 1.1.9 藤本発電所の供給電力量(S29~H21)